

御代田町誌 歴史編上 目次

題字 柳澤 薫

口絵 写真

発刊のことば

監修のことば

例言

御代田町誌刊行会長 柳澤 薫

長野県考古学会会長 桐原 健

序章 御代田町の原始・古代瞥見……………3

- 一 御代田の縄文時代……………(桐原 健) 3
- 二 御代田の弥生時代……………6
- 三 御代田の古墳時代……………8
- 四 御代田の奈良 平安時代……………10
- 五 御代田の中世……………11

第二節 佐久地方の旧石器文化……………21

- 一 後期旧石器時代の展開……………21

第三節 旧石器時代の古環境と浅間山の噴火……………26

第二章 縄文時代……………(角張淳一) 29

第一節 縄文時代のあらまし……………29

第二節 縄文文化の黎明―草創期……………31

第三節 縄文文化の胎動―早期……………(水沢教子) 38

第一編 原 始

第一章 旧石器時代……………(角張淳一) 15

第一節 旧石器時代のあらまし……………15

- 一 進化と文化の歴史……………15

一 早期という時代……………38

- 二 縄文早期の遺構……………42

	三	早期の土器	46
	第四節 縄文文化の形成—前期		
		(水沢教子)	53
	一	前期の遺跡	53
	二	生活用具のいろいろ	57
	三	集落のようす	69
	第五節 縄文文化の爛熟—中期		
		(水沢教子)	75
	一	中期の遺跡	75
	二	縄文中期中葉の土器	80
	三	縄文中期後葉の土器	93
	四	縄文中期の石器と生業	99
	五	縄文中期の集落	107
	六	住居跡のライフヒストリー	119
	第六節 縄文文化の展開—後期		
		(本橋恵美子)	126
	一	後期の遺跡	126
	二	生活用具	133
	三	後期集落のようす	145
	第七節 縄文文化の終焉—晩期		
		(中沢道彦)	158
	一	縄文晩期という時代	158
	二	縄文晩期の器	164

第二編 古代

	三	御代田町周辺の晩期遺跡	173
	四	晩期の生業	181
	第八節 縄文時代の暮らし		
		一 道具の用途	(堤 隆) 193
		二 縄文時代の食生活	(角張淳一) 198
		三 縄文時代の住まい	(本橋恵美子) 203
		四 浅間山麓の縄文集落	224
	第九節 縄文時代の地域間交流		
		(水沢教子)	232
	一	縄文社会における領域と交流	232
	二	類似した土器が広域に広がる理由	235
	三	縄文土器の胎土分析	242
	四	石材の流通	246
	第十節 ドクトル マンローと宮平遺跡		
		(堤 隆)	253
	第一章 弥生時代		
		(小山岳夫)	257
	一	弥生文化と浅間山麓	257
	二	弥生時代のあらまし	257

二	稲作の起源と伝播	258
三	金属器の導入	259
四	弥生時代の始まり—早期前	262
五	地方分立の時代—中期	265
六	争乱の時代—後期	274
七	御代田の弥生集落	288
第二節	人々の暮らし	293
一	集落・耕地の拡大	293
二	衣食住	295
三	墓からみた弥生社会	300
第二章	古墳時代	304
(小山岳夫)		
第一節	古墳がつくられた時代	304
一	古墳時代のあらまし	304
二	大和中心の古墳時代前期	305
三	河内への中心移動と渡来文化—中期	311
四	古墳造りの終わり—後期	316
第二節	浅間山麓の古墳社会と文化	321
一	佐久平における古墳の変遷	321
二	集落の拡散と拡大	331
三	生産	345

四	暮らしのようす	347
第三章	奈良・平安時代	357
(堤隆)		
第一節	律令社会と佐久	357
一	信濃国佐久郡	357
二	浅間山麓の東山道	367
三	佐久の御牧	378
四	浅間山麓の古代馬	387
五	生産と流通	391
第二節	浅間山麓の古代のムラ	394
一	住まいのようす	394
二	ムラのようす	402
三	浅間山麓の古代のムラ	411
第三節	ムラの暮らし	423
一	暮らしのようす	423
二	古代の災害	441
三	古代の寺社と信仰	446
第四節	古代社会の変貌と佐久	454
一	律令社会の変貌	454
二	武士団のおこりと佐久	457

第三編 中世

第一章 中世

第一節 木曾義仲のころの御代田……………(郷道哲章) 465
 一 牧と荘、郷と保…………… 465

第二節 鎌倉幕府と御代田…………… 473

一 鎌倉幕府と佐久武士…………… 473
 二 承久の乱と御代田…………… 475
 三 人々の動きと生活……………(郷道 小山) 478

第三節 南北朝の内乱から室町幕府へ…………… 482

一 南北朝の内乱と滋野一族…………… 482
 二 大塔合戦と御代田…………… 484
 三 関東の争乱と御代田…………… 487
 四 人々の往来と信仰……………(郷道 小山) 489

第四節 群雄割拠の中の御代田…………… 500

一 戦国時代前夜の御代田…………… 500
 二 武田氏と佐久武士の攻防…………… 502
 三 武田氏の佐久支配と御代田…………… 506

四 北条 徳川氏のはざままで……………(郷道 小山) 508

第五節 中世の文化と信仰…………… 523

一 鎌倉文化と信仰……………(大井源寿) 523
 二 室町文化の広がりとはじめ……………(小山岳夫) 536
 三 華麗な桃山文化…………… 540

付編 御代田町の遺跡

索引

御代田町誌『歴史編上』関係者名簿

執筆者名簿

刊行会名簿

教示者

資料提供者 機関名簿

あとがき